

そろそろ冬の気配ですが、いかがお過ごしですか？
月例情報市場のご報告をいたします。

目次 ■活動報告 ■イベント情報・募集情報 ■物品情報 ■後記

□活動報告

日時 2012年11月21日(水) 16時～17時

場所 ふれあい福祉センター 5-4

参加者

- ・コーディネーター 込山哲也 支援ネット副会長
- ・音楽ボランティア ふるさとの風 武井道夫さん、貞子さん
- ・中条社会就労センター 指導員 吉田大介さん
- ・信濃町社会福祉協議会 ボランティアコーディネーター 徳竹なおみさん
- ・クリエイティブ・アイズ 代表、長野市民新聞 市民とNPOの広場編集委員会
事務局長他 寺澤順子さん
- ・支援ネット 事務局



込山 まずは名刺交換をしましょう。…では、せっかくなので、中条から来てくださった吉田さんから。

吉田 高齢者・障害者の方々に来ていただいて、活動しているセンターで、指導員として現場で動いています。長野市の生活保護の管理下にある授産所で利用者さんと向き合っている毎日

です。

情報市場のチラシを見て来ました。企業との交流もあるとお聞きしたので。また、別の仕事もあればいいなと。ご縁があれば、と思って。

込山 企業とのマッチングでしょうか、それともボランティアさんを探しているとか？

吉田 どちらかといえば、**企業とのマッチング**を求めています。ミシン縫製、部品検査などができます。ダンボールを折ったり。

込山 なるほど。

では皆さんで順番に伺いながら。ふるさとの風さんいかがですか。



ふるさとの風 武井 久しぶりに二人で来ました。今月 32 回です。先日、体調を崩しました。後継者つくりたいと思いますが、なかなか人がいないんです。私が休むと、紙芝居も腹話術のけんちゃんも聞けないし。それが、悩みです。

込山 続いているボランティアグループの世代交代できないというのは、多くのグループの皆さんのお悩みのようですね。

さて情報市場は、申し込み不要です。当日誰が来るかわからなくて。どんなふうに話が展開するかもわかりません。今日は支援ネットからは事務局と企業から来ています。今、来られた方、自己紹介からお願いします。

徳竹 信濃町社会福祉協議会で、ボランティアコーディネーターをしています。12月13日に開催される町のボランティア交流会で、込山さんに講演をお願いしました。またよろしくお願いします。

寺澤 お久しぶりです。長野市民新聞の第一火曜日に、NPO コーナーがありますが、その編集兼事務局をしています。ボラセンスタッフ、公益センタースタッフをはじめ毎月13団体で編集委員会を開いています。

法人でなくても、ボランティアグループでも個人でも、公益的な活動をしているグループであれば、広報できるスペースです。

イベントや募集情報など情報があれば、無料で掲載や取材をします。広報媒体として活用していただきたいので、ご連絡ください。

広告が編集費用なので、企業で関心のある方は、ぜひ広告をお願いします。(別紙参照)

民生児童委員会報誌や、県社協の子育て支援に関する印刷物の編集・企画を仕事としています。

フリーです。NPO・非営利の活動にも詳しいと自負しています。

NGO 活動にも関わっています。国際支援を千曲市で行っています。タイの 100 名のお子さんへの支援が 10 年間続いています。それがきっかけで NPO の世界に入りました。

10 年でミッションを終える予定。個人的には、国際交流が得意分野です。

込山 僕がボランティアから市民活動に入り込んだきっかけは、スペシャルオリンピックスです。勤めているソニー生命が、企業スポンサーとなり、社内でボランティア委員会が立ち上がりました。それで、まずボランティアセンターへ来たところ、1 階にボランティアコーディネーターで支援ネット理事の戸田さんがいたわけです。それで「カー杯」お話しをしたところ、「**とりあえず、ゴミ拾いから始めたら?**」と。ゴミ拾いでいいのかな?と思ったのですが、結果が出るので、すぐ皆で取り組みを始めました。ビルのテナントですから、ビルの管理会社さんにも理解を得て。

そのようなきっかけでボラセンに通うようになって、次に僕が与えられたのは、かわらばんの記者です。自慢なんです(笑)、国語が 1 だったんです、高校生のとき。そういう僕でも、人と話しながら、書くことができるようになってきました。

かわらばんの記者をしている中で、支援ネットが立ち上がり。初めはスピーカーだったのが、

理事に。そして、今、こういう場でコーディネーターをしています。**ち**ょいボラ。典型的な企業人のとっかかりでした。それで、長崎や高崎・水戸まで行かせていただきました。企業人のボランティアのとっかかりは、単純なものがいいのではないのでしょうか。

あと、自分が、興味のあるものは聞きたいので、ライフワークとして講演会の企画を 2 ヶ月に 1 度くらいしています。

下川浩二さんの講演会のチラシをお配りしましたが、今、**大人になるのがいやだという子どもが増えている**そうです。大人は、「疲れた、疲れた」と言うので、今、子どもって楽しいんですね。**我々が子どものころは、早く大人になりたかったですよね?**楽しむ大人が増えることで、生き生きするのではないか。そう思って演題は大人が楽しむこととしました。講師は、自分のことを「しもやん」と呼んでいる楽しい



大人です。語録も面白いです。例えば、**すなおの法則。「すごいですね〜」「なるほど〜」「おもしろいですね〜**これで、人はいろんなこととお話ししてくれます。剣道の『**守・破・離**(しゅはり)』と同じ三段階の法則です。今年初めてなんです、僕も楽しくなっています。

吉田 「耕せながの」とはどういう団体ですか?

込山 プライベートでやっているチームです。耕せ、というからには、農業はいずれやろうと思っていますが、今は、人材掘り起こしの段階です。

寺澤 込山さんの企画は、いつも人ですよ？ ワークショップとか、シンポジウムとか、でなく「この人の話を聞こう」という企画なのは、意味があるのですか？



込山 単純だから…。

寺澤 人が好きですか？

込山 人が好きですね。セミナーという言葉は好きではないかも。

寺澤 アメリカ的ですよ。カリスマの話を聴いて、パクる。そうやって自分の生き方を開いていこうとする。

込山 「掘り起こし」をしてほしいんです。悩んでいる人にも、**少しでも上をむいて、自分の土壌を掘り起こしてほしい**。土壌を掘り起こしていると、ガチガチに固まったところにも、**種**が飛んでくる。そこから**芽**が出て、どこを向くかは、もう僕にはどうでもいいんですよ。

寺澤 小中学生は、夢を持った大人の話を聴くことは多いですが、大人になると、大学の先生とか難しい話が多いです。元気の出る話は少ないので、特徴的な活動をされているなあと思っていました。だって、いつも選ぶ人は「**やんちゃな大人**」でしょう！？（笑）

込山 **感動してもらいたいんですよ！笑ったり、泣いたりして。**

吉田 人に出会うことによって、また何か変わりますよね。

寺澤 ボランティア活動しているときは人に与えることを意識するけど、人には元気をもらうことができますよね。

込山 元気は確かにもらえます。が、もう少し踏み込んでお話しすると…。いろんな人に、講演会のお話しをするのは難しいんですよ。チケットを売ってもらうというのも。チケット1枚売ること、全否定されることもあります。買ってくれないと落ち込むということも。その人との付き合い、信頼関係が出てくるんです。沈んだり上がったたりして自分が成長していくし、人との付き合いを深めていくことにもなるんです。

寺澤 プレッシャーではないですか？人が集まらないとどうしよう、とか。

込山 先週末の講演会では、220人集まりました。トータルすると6万円の赤字でしたが、出会いが増えたので、行ってこいかな、と思っています。

吉田 それだけ大きな規模ですと、当日動く人は10人以上…？

込山 50人くらいいますね。最初は10人くらいでしたが。というのも、こういう輪というのは、誘ってくれた人と講師、二人に感謝することになるんですよ。この伝播が動いているわ

けです。だから、できるだけ数多く関わってもらうことで、変わっていく、育っていくことができるんです。

寺澤 確かに、「つながり」を持つことは大切ですね。個人ボランティアだと相手にされないとき、NPO同士の連携によって、信用されることもあります。市民新聞のお知らせのコーナーに掲載希望しても、載せてもらえないこともあるかもしれません。市民とNPOの広場で紹介することで、そういう効果があるといいな、という思いもあります。新聞社で選んでいるのも人間ですので。

込山 昔に比べて、市民活動も大きくなりましたよね。こんなに活動していなかったと思います。やってみたい人、やりたい人はたくさんいます。そのへんをうまく掘り起こしていきたいものです。



吉田 個人的に自分の周りを見てみると、くすぶっている 30 代って結構いるような気がするんです。やろうか、という声は周囲にもあります。市民活動になればいいのだけど…という段階です。

優秀な人が、土日は家でネット三昧。仕事以外に話す人もいないようです。本とかには詳しいので。読書会を、土日はひきこもっている人に語ってみるといふのを定期的にやりたいんです。12月初めにやってみよう

かと。カフェかどこかで。

支援ネット まず楽しいからやる、というのがいいですね。組織でなく。やりたいから、やる、という。私は個人的に地元で今週末ユニバーサルデザインのワークショップを予定しています。とりあえず二人でもやる、と言って企画したので、楽しいところです。

寺澤 ユニバーサルデザインといえは、えんぱーくや茅野市民館などを見に行くと、東京の設計者のすごいデザイン。便利だけど、使ってみないとわからない点もあったようです。環境系の仕事で行きましたが、例えば窓が多いと冷暖房費がかかる、とか。

これからは、環境に配慮した設計が必要です。コンペは 5-10 年前なので、情報が現状に合っていないと感じたときには、声を出したほうがいいですね。

徳竹 信濃町社協でボランティアコーディネーターをしています。ボランティア交流会を 5-6 年やっていませんでしたが、来月計画しています。広報はこれからです。

地域柄、昔ながらの婦人会などから、ボランティアをしている人が多いです。今の若い方は、会にしばられたくないと言って個人でやりたい人が多い。年齢が上がってきていますし、ある程度の年齢の方は、「やらされている」感もあるようで、ずれがあります。田舎というの



もあり、うまく続いていかない、行き詰まっているところがあります。

会に入っても、自由にできると思います。ボランティアを考え直すきっかけになればいいなと思います。やりたい人は、個人で社協通さずにボランティアしています。どういう団体が活動しているのか知りたいというのがあります。ボランティアのことを、皆さん難しく考えているので、上手に根づいていかない気がするんです。それで、長野市さんとかのを参考にしたかったのです。

ふるさとの風 腹話術で使う人形「けんちゃん」のことをお年寄りや孫みたいに可愛がってくれます。人形にむかって、話しかけている人もいます。子ども達も喜びます。

支援ネット やらされてはいないですよ。

ふるさとの風 そうですね。やらされてはいないです。

込山 ボランティアは社協を通さないといけないと捉える人もいるかもしれないけど、

吉田さんのいうように、楽しみごと、楽しいことは・・・

吉田 ボランティアって、やりたいと思ったら、やればいいのかと思うんですよ。

自発性。やりたくなければやらなくていい。勝手にやり始めるけど、気が合うものは、皆つながってくると思います。

寺澤 つながる場所としたら、カフェみたいなどころっていいですよ。社協に所属していない人も来れる場。そこで話しているうちに、引き込むしかない状態に…。来る人にメリットがあるといいのでは？金銭的なものでなく、面白いとか楽しいとか。

親子で参加できるものからスタートすると、子どもが離れたときに、女性が、単独で参加しやすくなります。子どもがいるうちに、親子で参加できるイベントを企画し、年配のボラさんに入ってもらっていただく。そんなのもどうですか。

徳竹 登録した人にしか連絡できなかったりして。社協にはボランティア保険くらいしか用事がなかったり。こちらでも、情報発信できない。ボランティアさんに入ってもらえるようにしたくても、なかなか…。

寺澤 皆、世代交代できず悩んでいるようですね。

徳竹 活動が負担なら、思い切ってなくしてもいいのではないかとアドバイスもするんですが…。

込山 いやいや、ゆるくても、続けたいでしょうね。

徳竹 新しい人が入ってくれない、と聞きます。

吉田 自分のやりたくてやっていた活動を、引き継いでくれる人がいないんですね。賛同してくれる人、習いたい、やってみたい人…そういう人が一人でも二人でも来てくれると…。

ふるさとの風 したい人はいるんだけど、どこへいけばいいかわからないとも聞きますね。発表の場がない。行きたいのにいけない。私たちは、最初は、自分たちで老人施設をまわりました。でも、まわるとだめなんです、警戒してしまって。まわっているところからは、ほとんど依頼は来ていません。

込山 売り込むとだめですね。

ふるさと 売り込むとだめだね。紙芝居でやりますよ。というと普通の紙芝居だと思いこんでしまう。「スーパー紙芝居」なんだけど。今日も貞子さんのお話して、お年寄り 10 数人みんな泣いちゃって。

寺澤 1 回体験できると、つながるんですね。

ふるさと そうですね。1 回やると、わかってくれます。

寺澤 若い人が、気軽にボランティア体験できる仕組みがあるといいのかな。重いボランティアではなく。来週と同じ時間に、と。

支援ネット 私も事務局に入ったのは偶然でしたが、コーディネーターの方に性格やスキルに合っている作業を与えていただいたことで、はまりました。

込山 コーディネーターのきっかけづくりも大事なんですね。

ふるさと 須坂やすらぎの園さんでは、庭のそうじを毎日ボランティアさんが行っているようで、年間 3000 人を超えるようです。

寺澤 子どもが小さいとき、お花植えボランティアを企画しました。水仙を植えましたが、咲くから楽しくて！ 手応え・結果が見えるのは重要ですね。咲いたときに、バーベキュー・お花見大会をしたら、人が集まりました。そのときの仲間が、国際支援のボランティア団体になりました。

体験したら、はまります。役割を分担し、いっしょにやり、成果が見える。そうすると口コミで広がっていきます。

徳竹 ペットボトルキャップを集めたんですね。お茶飲みを兼ねて選別作業しようと思ったんですが、洗わないといけない、シールはがさないといけないで、なかなか進まなくて…。集めたのはいいのですが、倉庫が何百キロものペットボトルでいっぱいになっています。サマチャレもしたのですが、小学生 5~6 人しか集まらず。飽きてしまうと適当になってしまって…結局こちらでやることになってしまい。ハイターにつけて洗っているのですが、シールはがしは町内の宅老所をお願いしたりしています。

一貫教育が始まったばかりの町立小中学校にもお願いして集めてもらっているのですが、学校も難しいんです。仕分けしてくれるボランティアさんを探しています。

込山 子どもだったら、集まったペットボトルのキャップで、遊ばせればいいんじゃないですか。飛び込むとか。

寺澤 「ベッドボトルキャップでツリーをつくる会」というのもどうでしょう。

込山 **楽しみながら、がいいですね。**

吉田 遊んだ人で、時間を区切って作業すれば。

込山 きっと時間を競いますから。優勝は何かあげるとか。

寺澤 ペットボトルアートコンテストとか。

徳竹 現在、昼休み 10 分間だけ職員でやっています。大人でも、隣の人が早ければつられますので。子どももやればいいですね。

込山 100 のうち 1 つ「**当たり**」をつけるとか…。

今は、徳竹さんご自身が負担に考えているんですね。**こんなに資源があるから、どう楽しもう、**といった具合にちょっと切り替えてはいかがでしょうか？

寺澤 子ども達に投げかけては？

込山 どういうふうになるか、役立つかを伝えては？

吉田 写真とかで取材してきたとわかると、本当にそうなんだ、とリアリティが出ます。

徳竹 学校に協力的な先生を見つけるのも一苦労です。

支援ネット 今は、学校と地域の連携が必要と言われていますよね。

徳竹 タイミングとしては今だと思っていますが。

吉田 教育目的としては？

寺澤 エコ教育ですね。今、中学生の教科書でも PPT などプラスチックの種類も詳しく載っています。リサイクルの 3 つの意味とか。ゴミ問題を考えるきっかけになると思います。取材も、子ども達に行かせればいいのではないのでしょうか。

吉田 社会見学ですね。

寺澤 コーディネーターさん個人の人脈でなく、組織でお願いしていくということもできると思います。

吉田 企業の昼休み 10 分間ボランティア。ポイントをつけられるとか。

寺澤 ボランティアポイント制 **企業も参加するメリットを持たせる**といいのではないのでしょうか。

吉田 センターでもち米をつくったので、もちつきやれたらいいなと思うのですが、施設とかでできるところはないのでしょうか。

寺澤 小学校のとき、学校でやりましたよね。育成会と連携してはいかがでしょうか。学校は、入り込みやすいと思います。PTA が一人暮らしの老人に届けるところまでしていたところも

ありました。のどに詰まらせて亡くなったら困る、という心配もありますが。

吉田 配るところまで考えるのは、なるほどですね。

込山 いろんな人を巻き込んだらいいですね。

寺沢 活動も知れ渡るし。

込山 さて、そろそろ時間です。次回 12月19日の情報市場は、ふるさとの風さんのコンサートを予定しています。総勢 14名、二胡 9名ということです。年間 300回以上と、おそらく長野市でいちばん多くボランティアをしている皆さんです。どういふふうにされるのかをじかに見たいというのが原点です。

ささえあい応援金活動団体の発表、**コンサートは情報市場初の試み**です。参加者同士の情報交換もできますので、どうぞいらしてください。

月例情報市場 (初)・拡大版
ささえあい応援金活動団体によるミニコンサート！

なごのボランティア・市民活動支援ネットワークは、毎週 10 月日の毎月、なごのボランティア活動支援センターにて毎月 1 回の「情報市場」を開催しています。毎月 10 月日の毎月、なごのボランティア活動支援センターにて毎月 1 回の「情報市場」を開催しています。毎月 10 月日の毎月、なごのボランティア活動支援センターにて毎月 1 回の「情報市場」を開催しています。

誰でも参加のび！
参加者同士の情報交換も！
チラシや名刺をお持ちください。

福祉音楽ボランティア
ふるさとの風
ミニコンサート

年間 300 回を超えるボランティアを続けている
ふるさとの風さんの演奏で、
あなたも楽しく歌ってみたいませんか！

平成 24 年 12 月 19 日 (水)
16 時～17 時
長野市ふれあい福祉センターロビーにて
入場無料・申込不要

今日は、たくさんの方に来ていただき、ありがとうございました。いろいろな立場から、話を聞けたと思います。

以上

←こちらのチラシはホームページからダウンロードできます。

<http://www.nagano-shien.net/wp-content/uploads/2012/11/89eff670409cd03ac44bbdf4c5bcaea2.jpg>

ロイベント情報

●信濃町社会福祉協議会

～みつけようあなたにできるボランティア～信濃町ボランティア交流会

日 程 平成 24 年 12 月 13 日（木） 13:30～16:30

場 所 信濃町総合会館 大ホール

対象者 ボランティアに興味・関心のある方

内 容 第1部 基調講演

「ちょこっとボランティア～動けば変わる～」

講師 込山 哲也 氏（ながのボランティア・市民活動ネットワーク副会長）

第2部 活動発表&情報交換（5団体）

第3部 認知症サポーター養成講座（希望者のみ）

参加費 無料

申込み 12月12日（水）までに下記へお申込みください。

申込み・問合せ先

社会福祉法人信濃町社会福祉協議会 信濃町ボランティア・まちづくりセンター

TEL 026-255-5926 FAX 026-255-6242

E-mail welfare@arion.ocn.ne.jp

●長野市市民公益活動センター

NPOカフェまんまる

毎月第3火曜日 13時～20時くらいまで

もんぜんびら座3階 市民公益活動センター内交流スペース

対象 NPO、ボランティア団体、社会貢献活動を行う企業の方々など興味のある方

※先日お伺いしてきました。こちらをご覧ください。

<http://www.nagano-shien.net/1418>



●平成 24 年度障害者週間特別企画・地域生活ネットワークセミナー

地域で暮らす 2012～災害を考える！～

12月8日(土) 10:30～16:30 参加費無料

長野市生涯学習センター(トイゴ)

主催 長野市

参加申込 社会福祉法人 信濃の星 コーディネートプラザながの

〒381-2226 長野市川中島町今井 1387-5 (ハーモニー桃の郷内)

TEL 026-285-1900 / FAX 026-285-1909

E-mail p-nagano@mx2.avis.ne.jp ※11月30日必着

http://www.nsyakyo.or.jp/modules/vola_contents/index_5_21_p598.html

●長野市ボランティアセンター

◎今月の「ボランティアかわらばん」

<http://www.vnetnagano.or.jp/kawaraban/kawarabanpdf/kawaraban361.pdf>

ぞくぞく誕生！ 地区ボランティアセンター ガイドブック

◎コーディネート力を身につける講座

これから受講できるものは、こちらでご確認ください。

<http://www.vnetnagano.or.jp/24co%5Eautumn.pdf>

情報の受発信 (実践 13 回)

12月14日(金) 10:00～16:00

場所：ふれあい福祉センター

講義・演習：情報の受発信とは ものごとをうまく伝える・受けとめる

講師 花井 裕一郎氏 小布施町まちとしょテラソ館長

※ 単発受講の方は必ず出席の有無をご連絡ください。

■参加費 ■各回とも1回 500 円

■問合わせ・申込み ■長野市ボランティアセンター

〒380-0813 長野市緑町 1714-5 長野市ふれあい福祉センター内

TEL:026-227-3707 FAX:026-224-1513 e-mail vc102@vnetnagano.or.jp

http://www.vnetnagano.or.jp/24co_13.pdf

●長野市災害ボランティア委員会

◎「伝える」プロジェクト 展示パネル貸出し。「震災を忘れない」ために。共有したいことがあります。貸出し希望者は、一週間前までに申し込みを。

http://www38.atpages.jp/kawasakigpz2002/panel_info.pdf

◎長野元気プロジェクト

募金箱やチラシを置いていただける場所を募集中!

企業・団体の皆様には、スタッフの皆さんの休憩室への募金箱設置や、お給料の端数募金など、「できる範囲」でのご協力をお待ちしています。

大槌で頑張っている方に大槌の花屋さんに注文した花を送っています。現在は大槌役場1か所ですが、今後は資金が集まり具合によって、警察・消防・病院などにも送りたいと考えています。 <http://genkiproject2012.naganoblog.jp/>

→元気ニュースも発行しています。ブログをご覧ください。



上記2つのプロジェクトの問い合わせ先

〒380-0813 長野市緑町 1714-5 (長野市ボランティアセンター内)

長野市災害ボランティア委員会事務局

E-mail dvcnagano@gmail.com FAX 026-224-1513

※上記以外にも、様々なプロジェクトが同時進行しています。

<http://dvcnagano.naganoblog.jp/>

◎宇宙のしもやんこと下山浩二講演会

- ・日時 平成24年12月15日(土) 19:00~20:30 (開場 18:30)
- ・場所 長野市東部文化ホール(長野市小島)
- ・参加費 2,000円 定員 200名
- ・主催 耕せながの! 後援 長野市教育委員会・信濃毎日新聞社
- ・問い合わせ・申し込み 耕せながの! 090-3585-1680

<http://tagayase.blog.so-net.ne.jp/archive/c2302174082-1>

→詳細は、議事録込山さんのコメントで。しもやん語録を一つ。

「誰でもできることを誰にもできないくらいやれば、絶対成功する。」

□募集情報

◎市民とNPOのひろば 広告募集

長野市民新聞の中で、毎月第一火曜日に発行されているコーナー「市民とNPOのひろば」では、企業の広告を募集しています。

このコーナーは、市内NPO法人や長野市ボランティアセンター、長野市市民公益活動センターの協働による編集委員会がつくっています。配布地域は長野市・須坂市・千曲市で、発行部数は3万部です。NPO・ボランティア活動の情報掲載を無料で行っていただけるこのコーナーの継続は、活動をする市民にとって、大切な広報スペースです。企業にとっては、社会貢献の一つのメニューになるのではないのでしょうか。

広告料はモノクロ 横 80*縦 98mmで 21,000 円～。

詳細お問い合わせは、支援ネット事務局 または市民と NPO のひろば編集委員会まで。

□物品情報

★探しています

- ・小型洗濯機・小型冷蔵庫（ボランティアセンターさん）

※単身者用。新品か、新品に近いもの。生活に困窮された方へ、寄付をお願いします

- ・A4 パンフ台（支援ネット）

★集めています 長野市ボランティアセンター 書き損じハガキ、古切手

後記

・今回は、4 団体の皆さんのご参加をいただき、様々なお立場からご発言いただき、あっ！という間に時間が過ぎていきました。市民活動をしている皆さんは、個人とかグループとか法人とか、様々なかたちで活動をしていると思いますが、「しくみ」にすることで、持続性が出てきます。今回のお話をお聞きしている中で、そのしくみは「楽しく」「皆のものである」ことが大事なんだなあ、と改めて実感しました。

・長野市内、また近隣市町村には、様々な場所に活動の相談をできる場所があります。語り合う場は、ボラセンの丸テーブル、門前ぷらざ 長野市市民公益活動センターぷらっとのカフェまんまるのように、立場や所属を超えて、フラットに話し合える一つのプラットフォームをつくるのが大切なんです。

一人一人の進行中の小さな思いや悩みを伝え、新鮮な情報等を共有することで新しい種に気づける場が「情報市場」です。どんな人と出会えるかは、その場に行ってお楽しみ！ シナリオがないから、思いがけない化学反応が生まれます。それが、種をわくわくとしたストーリーに育てていくのです。来月の情報市場は、忘年会風ミニコンサートです。是非お出かけください。

●イベント情報や月例市場で発表したい！など、お気軽にお寄せください。

ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク

メール info★nagano-shien.net（★をアットマークに変えて送ってください）

FAX 026-224-1513

（な）